

・ 予定配分額については、令和元年6月13日ガバニングボードで承認済

採択年度／順位／大学			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
重点支援①②	令和元年度	1位 東京医科歯科大学	3億円	1.1億円 <sup>#2</sup>	特に優れた実績がある場合に配慮	
		2位 山梨大学	2億円	1億円		
		3位 名古屋工業大学	1億円	0.3億円 <sup>#1</sup>		
	令和2年度	1位 岐阜大学		3億円	1億円 <sup>#3</sup>	特に優れた実績がある場合に配慮
		2位 九州工業大学		2億円	1億円 <sup>#3</sup>	
	令和3年度	1位			3億円	1億円
2位				2億円	1億円	
重点支援③	令和元年度	1位 千葉大学	5億円	2億円	特に優れた実績がある場合に配慮	
		2位 東京工業大学	4億円	1.1億円 <sup>#2</sup>		
	令和2年度	1位 岡山大学		5億円	2億円 <sup>#3</sup>	特に優れた実績がある場合に配慮
		2位 東京農工大学		4億円	1億円 <sup>#3</sup>	
	令和3年度	1位			5億円	2億円
		2位			4億円	1億円
配分総額			15億円	19.5億円	20億円(予定)	6億円(予定)

#1 名古屋工業大学について、ガバニングボードは、令和元年度の民間資金獲得実績に重大な問題があると判断し、令和2年度の配分額を減額し、留保分を配分しないことを決定した。このため、配分額は、当初予定の6割の0.3億円となった。

#2 東京工業大学及び東京医科歯科大学について、ガバニングボードは、令和元年度に特に優れた成果をあげたと判断し、他大学の減額分を上乗せして配分することを決定した。このため、それぞれへの配分額は、当初予定に0.1億円ずつ上乗せされた1.1億円となった。

#3 フォローアップ方針（参考資料2）により、配分額は、令和3年度中に行うフォローアップの結果に基づいて決定される。